

ターペン可溶形変性無機塗料（遮熱タイプ）

ダイヤスーパーセラマイルドIR

【標準施工仕様】

●コロナル屋根の塗替え（フッ素樹脂塗料下地を除く）

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1 下地調整	①素地に付着しているゴミ、ほこり、カビ、藻などは、高圧水洗浄などでいねいに取り除いて下さい。洗浄は高圧水洗浄ができない場合は、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシなどを用いて取り除いて下さい。洗浄後は充分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分、重ね箇所、フックボルト周辺などは入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮いたり、割れたり、膨れたりしている場合はきちんと除去して下さい。 ②寒冷地区における屋根材は、塗膜のフレシ割れ等が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢がでないなどの仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。 ④雨あがり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2 下塗り	ダイヤSPRカラープライマー(ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	7kg 1kg 0～1%	0.16kg/㎡ 50㎡/セット/1回	1～2	（4時間～7日）	4時間～7日	中毛ローラー、刷毛
3 上塗り	ダイヤスーパーセラマイルドIR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	10kg 2kg 0～3%	0.30～0.35kg/㎡ 35～40㎡/セット	2	4時間～7日	—	中毛ローラー、刷毛
4 縁切り	水切り部で上下の重なり部分が塗料でつまっている場合は必ずスキ・カッターなどを用いて縁切りを行なって下さい。						

*間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間かなりの差異がありますので注意して下さい。
*ダイヤSPRカラープライマーはホワイト、ダイヤスーパーセラマイルドIRは標準色を使用して下さい。 *ダイヤSPRカラープライマーは、下地の状況が悪く、吸い込みが激しい場合は2回塗布して下さい。

●金属屋根塗替え（フッ素樹脂塗装鋼板の塗替えは除く）

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1 下地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン（SSPC-SP3、ISO St3）程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらした後、清掃ケレンを行って下さい（詳細、仕様書参照） ②こけ、ごみ等付着物、汚れ、劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。 ③亜鉛メッキ鋼板（亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板）に塗装する場合、6ヶ月以上放置し表面光沢を消失させるか、或いはリン酸処理等を施してから塗装して下さい。他、上記工程表③④に順ずる。						
2 発錆部補修塗り	ダイヤヒスイエボサビ#200A(ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	14.4kg 1.6kg 0～2%	0.16kg/㎡ 100㎡/セット	1	—	4時間～7日	中毛ローラー、刷毛
3 下塗り	ダイヤヒスイエボサビ#200A(ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	14.4kg 1.6kg 0～2%	0.16kg/㎡ 100㎡/セット	1	—	4時間～7日	中毛ローラー、刷毛
4 上塗り	ダイヤスーパーセラマイルドIR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	10kg 2kg 0～3%	0.30～0.35kg/㎡ 35～40㎡/セット	2	4時間～7日	—	中毛ローラー、刷毛

*間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間かなりの差異がありますので注意して下さい。
*ダイヤヒスイエボサビ#200Aはホワイト、ダイヤスーパーセラマイルドIRは標準色を使用して下さい。

●外壁面の仕上げ（フッ素樹脂塗料下地を除く）

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1 下地調整	①下地に付着しているゴミ、ホコリ油脂類、異物は高圧水洗浄などで取り除いて下さい。 ②チョーキング、脆弱部をサンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。 他、上記工程表③④に順ずる。						
2 下塗り	ダイヤSPRカラープライマー(ホワイト) 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	7kg 1kg 0～1%	0.10～0.15kg/㎡ 54～80㎡/セット	1	—	4時間～7日	中毛ローラー、刷毛
3 上塗り	ダイヤスーパーセラマイルドIR 基剤 硬化剤 ダイヤシンナーN	10kg 2kg 0～3%	0.30～0.35kg/㎡ 35～40㎡/セット	2	16時間～7日	—	中毛ローラー、刷毛

*間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間かなりの差異がありますので注意して下さい。
*ダイヤSPRカラープライマーホワイト以外に、ダイヤアクレスファイラーも使用可能です。 *ダイヤスーパーセラマイルドIRは標準色を使用して下さい。
*ダイヤSPRカラープライマーは、下地の状況が悪く、吸い込みが激しい場合は2回塗布して下さい。 *既存塗膜の種類によりリフティング(シフ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

【包装単位】

ダイヤヒスイエボサビ#200A(ホワイト) …… 16kg(基剤14.4kg/硬化剤1.6kg)セット
ダイヤSPRカラープライマー(ホワイト) …… 8kg(基剤7kg/硬化剤1kg)セット
ダイヤシンナーN …… 16%缶
ダイヤスーパーセラマイルドIR …… 12kg(基剤10kg/硬化剤2kg)セット

■ 施工・管理上の注意

- ① 塗装面の調整(改修)
 - ①塗装面に付着しているゴミ、ほこり、カビ、藻などは、高圧水洗浄などでいねいに取り除いて下さい。洗浄は高圧水洗浄ができない場合は、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシなどを用いて取り除いて下さい。洗浄後は充分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分、重ね箇所、フックボルト周辺などは入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮いたり、割れたり、膨れたりしている場合はきちんと除去して下さい。
 - ②寒冷地区における屋根材は、塗膜のフレシ割れ等が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢がでないなどの仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。
 - ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。
 - ④雨あがり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。
- ② 塗料の保管・管理
 - ①開缶した材料は必ず密閉し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
 - ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密閉のまま直射日光を避け、室内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
 - ③下記の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。
ダイヤヒスイエボサビ#200A、ダイヤSPRカラープライマー、ダイヤシンナーN、ダイヤスーパーセラマイルドIR
- ③ 施工
 - ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合は、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
 - ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りませんと、成膜不良や本来の遮熱性能が発揮できませんので注意して下さい。
 - ③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生して下塗り、塗付面周辺の養生を完全にしない、施工時建物の周辺に飛散ないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのままだけ取り除きますと隙が残りバリとなります。
 - ④乾燥時間は、温度・湿度・塗り厚により異なります。
 - ⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものを使用下さい。
 - ⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分な場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
 - ⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一面塗装中での塗り遅れは色違いやムラの原因となります。
 - ⑧施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、屋根塗付面に残る場合があります。

【適用下地】

- 【屋根】
 - 新設金属屋根：鋼板、亜鉛メッキ鋼板（亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板）
 - 金属屋根の塗替え：アクリル樹脂塗料、ポリウレタン樹脂塗料、変性シリコン樹脂塗料、特殊ポリエステル樹脂塗料、アクリルシリコン樹脂塗料塗装面（フッ素樹脂塗装鋼板の塗替えは除く）
 - コロナル屋根の塗替え（フッ素樹脂塗料下地を除く）
- 【壁】
 - 建物の外壁などの仕上げ（フッ素樹脂塗料下地を除く）

- ④ 本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がり確認を行って下さい。
- ⑤ 希釈する場合、希釈量を必ず守り、薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に着色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。
- ⑥ 雨に濡れが発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑦ 安全衛生上の注意事項については、容器の表示を必ずご確認ください。
- ⑧ 直に厚く塗ると色れや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑨ 塗装下地の差によって、塗布量が変化する場合があります。
- ⑩ ツルヤや無機系などの最終塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されない場合がありますので、使用の場合は最適な営業所へご相談下さい。
- ⑪ 使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置すると硬化する恐れがあります。
- ⑫ 着色や原色に近い色の場合、強くすると取れる場合があります。
- ⑬ 下地の凹凸ムラによる色差のムラが発生する場合があります。
- ⑭ シーラーと上塗りを混合するとケラ化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。
- ⑮ 上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。
- ⑯ 既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合は高圧水洗浄後にダイヤアクレスファイラーを必ず行って下さい。
- ⑰ 材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りませんと、成膜不良や本来の遮熱性能が発揮できませんので注意して下さい。
- ⑱ 小出し混合する場合は、混合比のずれが生じないように、必ず天秤・上皿電子天秤等を用い、重量比の配合割合を厳守して下さい。配合割合を誤りませんと、成膜不良や本来の遮熱性能が発揮できませんので注意して下さい。
- ⑲ ダイヤスーパーセラマイルドIRを施工する場合は、A液、B液混合後15～20分程度熟成して下さい。色によってムラになる場合があります。
- ⑳ 施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続された場合は、低汚染性能が発揮しないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。
- ㉑ 予想外の降雨などが発生した場合は、シート養生などを行い、塗装が濡れないよう対策を講じて下さい。
- ㉒ 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。雨掛りでない部位や鉛線、水切りが不十分な面や窓まわり及びその下面などは、低汚染性能が発揮しないことがあります。
- ㉓ シーリング材などに含まれる可塑剤、煤煙や油類、サビ汁などが原因の汚染物に對し

- ① 低汚染性能が十分に発揮されません。
 - ② 上塗は塗布量を厳守し、均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合は低汚染機能及び遮熱効果が十分に発揮されません。
 - ③ 塗布面の吸い込みが大きい場合は、下塗などにより吸い込みを少なくし、上塗が塗布面に吸い込まないようにして下さい。表面に上塗材が十分に確保されていないと耐候性、低汚染機能及び遮熱効果が発揮されません。
 - ④ A液とB液は指定の割合で混合し、電動攪拌機を用い十分に混合(2分以上)して下さい。
 - ⑤ A液とB液の混合比率が不適切であったり、B液を調合しなかった場合は、低汚染機能及び遮熱効果が顕現しません。
 - ⑥ タッチアップに使用する場合は、上塗のA液、B液の缶を良く振り、沈降分離していないものを指定の割合で計量混合し、電動攪拌機を用い同時に混合し使用して下さい。
 - ⑦ A液とB液の混合後は可使用時間以内に使用して下さい。可使用時間を越えて使用した場合、作業性や仕上がり、低汚染機能及び遮熱効果が発揮しない場合があります。
- 【安全衛生上の注意】
- ① 取扱は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
 - ② 取扱後は、手洗いやうがいを行って下さい。
 - ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
 - ④ 作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
 - ⑤ 廃棄物、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
 - ⑥ 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑦ 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
 - ⑧ 廃材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
 - ⑨ 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
 - ⑩ 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】
- ① その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
 - ② 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。
 - ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/>にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。
2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社と統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

(24.9月現在) 24.09.500 SJ

快適・創造・イノベーション

ターペン可溶形変性無機塗料（遮熱タイプ）

DIA ダイヤスーパーセラマイルドIR

有機・無機のハイブリッド効果を生かしつつ遮熱を実現。



有機・無機のハイブリッド効果(超耐候・超低汚染)を生かしつつ遮熱を実現。
壁・屋根の塗り替えの周期を大幅に伸ばしつつ、省エネにつなげていきます。

紫外線に対してフッ素塗料よりも強く、硬質の塗膜が汚れを寄せ付けない
“有機・無機変性塗料”のスーパーセラマイルドに遮熱性能を付加しました。
劣化や汚染によって損なわれてしまう遮熱性能は
スーパーセラマイルドのポリシロキサン結合が長期にわたって守ります。

ダイヤスーパーセラマイルドIR 特長

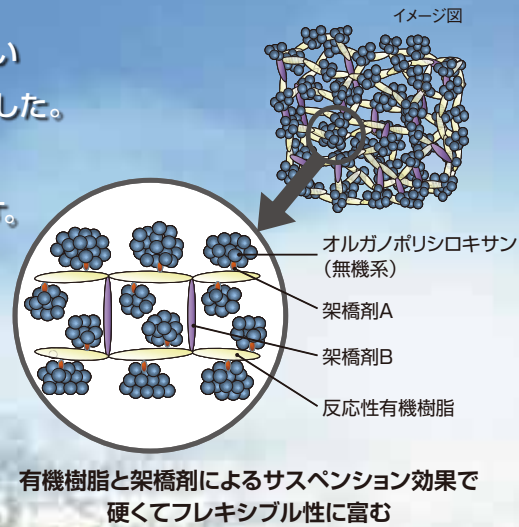
遮熱型 室内の温度上昇の原因の赤外線を反射し
快適な空間を作ります。〔参考1〕参照

超耐候型 高い耐候性(屋外の自然環境に耐える性能)が
大切な建物を守り続けます。〔参考2〕参照

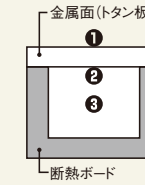
超低汚染型 塗膜が完全に成膜するとセルフクリーニング
(雨水等で洗い流されます)機能が発揮され
汚れを防ぎます。

難燃性 万が一の火災時にも
延焼しにくい塗料です。

高硬度 高硬度(4H)であるため
傷が付きにくい塗料です。

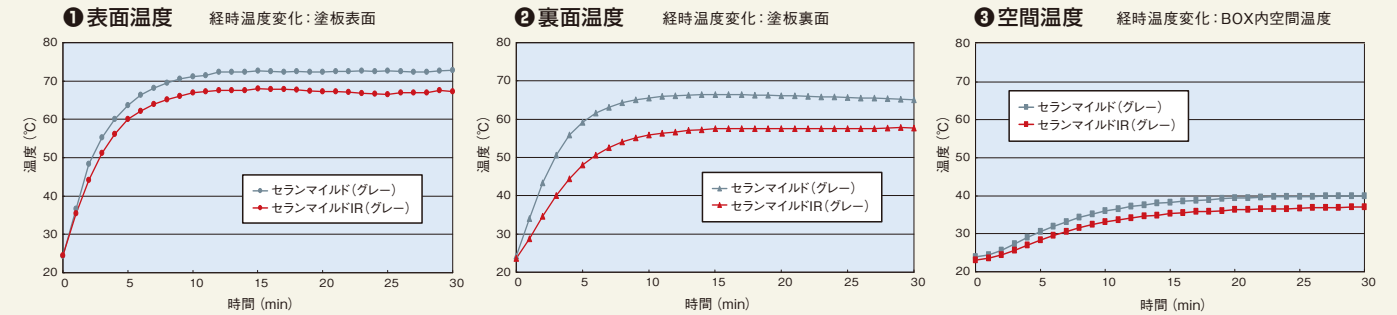


【参考1】スーパーセラマイルドIRの遮熱の効果(例)

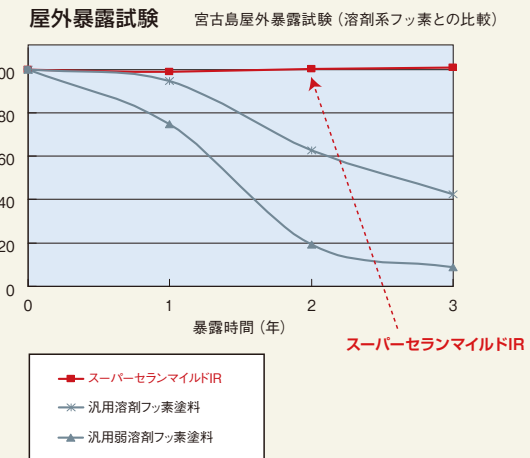
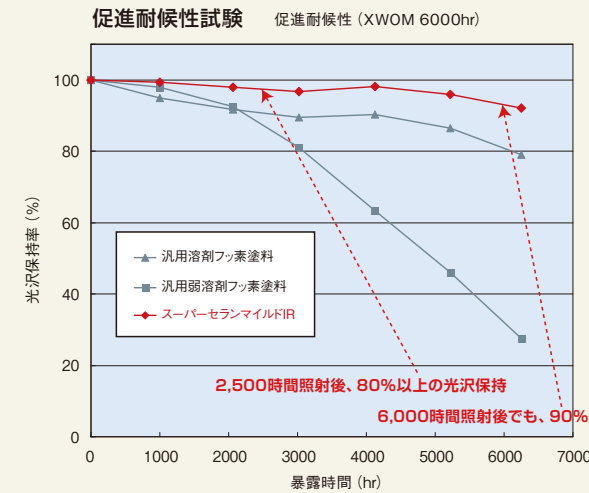


ダイヤスーパーセラマイルドIR (グレー塗布)
① 表面温度 67.2℃ (-5.6℃)
② 裏面温度 57.7℃ (-7.4℃)
③ 空間温度 37.0℃ (-3.0℃) ()は、非シャネツ塗料との比較

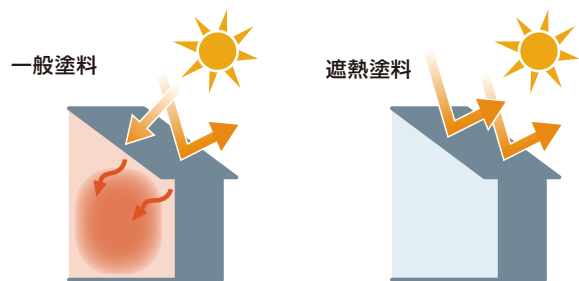
経時温度変化 (BOX内)



【参考2】スーパーセラマイルドIRの耐候性能



遮熱のメカニズム



着色顔料にカーボンブラックを使用。
これが赤外線を吸収し、温度が上昇。

特殊顔料の採用により赤外線を
反射し、温度上昇を抑制。

遮熱塗料に求められる性能 耐候性・耐汚染性

- 劣化が進むと塗膜表面の平滑性が失われ、
反射率が低下。
- 汚れが付着し黒くなると反射率が低下。

ダイヤスーパーセラマイルドIRは
これらの問題をクリアした
優れた遮熱塗料です。

スーパーセラマイルドIR 標準色

屋根用標準16色

色名	色系統	JIS K 5675	近赤外線	JIS K 5675
		1級相当	日射反射率(%)	規格相当
IR-01	ブルー系	○	63.3	○
IR-02	ブルー系	○	49.4	○
IR-03	ブルー系	○	68.7	○
IR-04	ブルー系	○	55.9	○
IR-05	クリーム系	○	66.4	○
IR-06	グリーン系	○	43.0	○
IR-07	グリーン系	○	33.4	× *
IR-08	グレー系	○	65.9	○
IR-09	グレー系	○	60.1	○
IR-10	グレー系	○	46.4	○
IR-11	チョコレート系	○	60.4	○
IR-12	チョコレート系	○	43.1	○
IR-13	チョコレート系	○	35.7	× *
IR-14	ワインレッド系	○	62.2	○
IR-15	ワインレッド系	○	43.2	○
IR-16	ワインレッド系	○	38.1	× *

※日射反射率は JIS K 5602 の試験に基づいて、近赤外線波長域を測定したものであり、
下地の状態や塗装仕様等により異なる場合があります。
※屋根用の標準色を壁にご使用いただくことはできません。
* JIS K 5675 「屋根用高日射反射率塗料」の日射反射率に関する品質規格に適合しません。

壁用標準20色

色名	色系統	JIS K 5675	近赤外線	JIS K 5675
		1級相当	日射反射率(%)	規格相当
IR-30	クリーム系	○	75.2	○
IR-31	グレー系	○	66.4	○
IR-32	オレンジ系	○	64.1	○
IR-33	グレー系	○	74.1	○
IR-34	グレー系	○	69.0	○
IR-35	ブラウン系	○	52.0	○
IR-36	ベージュ系	○	74.2	○
IR-37	ベージュ系	○	70.3	○
IR-38	ブラウン系	○	53.2	○
IR-39	ベージュ系	○	72.0	○
IR-40	サーモン系	○	72.6	○
IR-41	ブラウン系	○	59.9	○
IR-42	ベージュ系	○	71.0	○
IR-43	ブルー系	○	78.0	○
IR-44	グリーン系	○	69.6	○
IR-45	クリーム系	○	71.2	○
IR-46	グリーン系	○	75.4	○
IR-47	グレー系	○	62.9	○
IR-48	ワインレッド系	○	74.8	○
IR-49	ブルー系	○	73.5	○